

平成29年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第3回 5月中旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が前年と同程度、平年より多く出現した。

前年	平成28年5月11日	(17点の平均)	59.7 個/m ³
前回	平成29年5月2日	(7点の平均)	51.2 個/m ³
今回	平成29年5月12日	(17点の平均)	64.7 個/m ³
※5月中下旬の平年値			19.7 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚が前年と同程度、平年より多く出現した。

前年	平成28年5月11日	(17点の平均)	8.7 尾/m ³
前回	平成29年5月2日	(7点の平均)	2.8 尾/m ³
今回	平成29年5月12日	(17点の平均)	7.0 尾/m ³
※5月中下旬の平年値			2.2 尾/m ³

○プランクトン調査

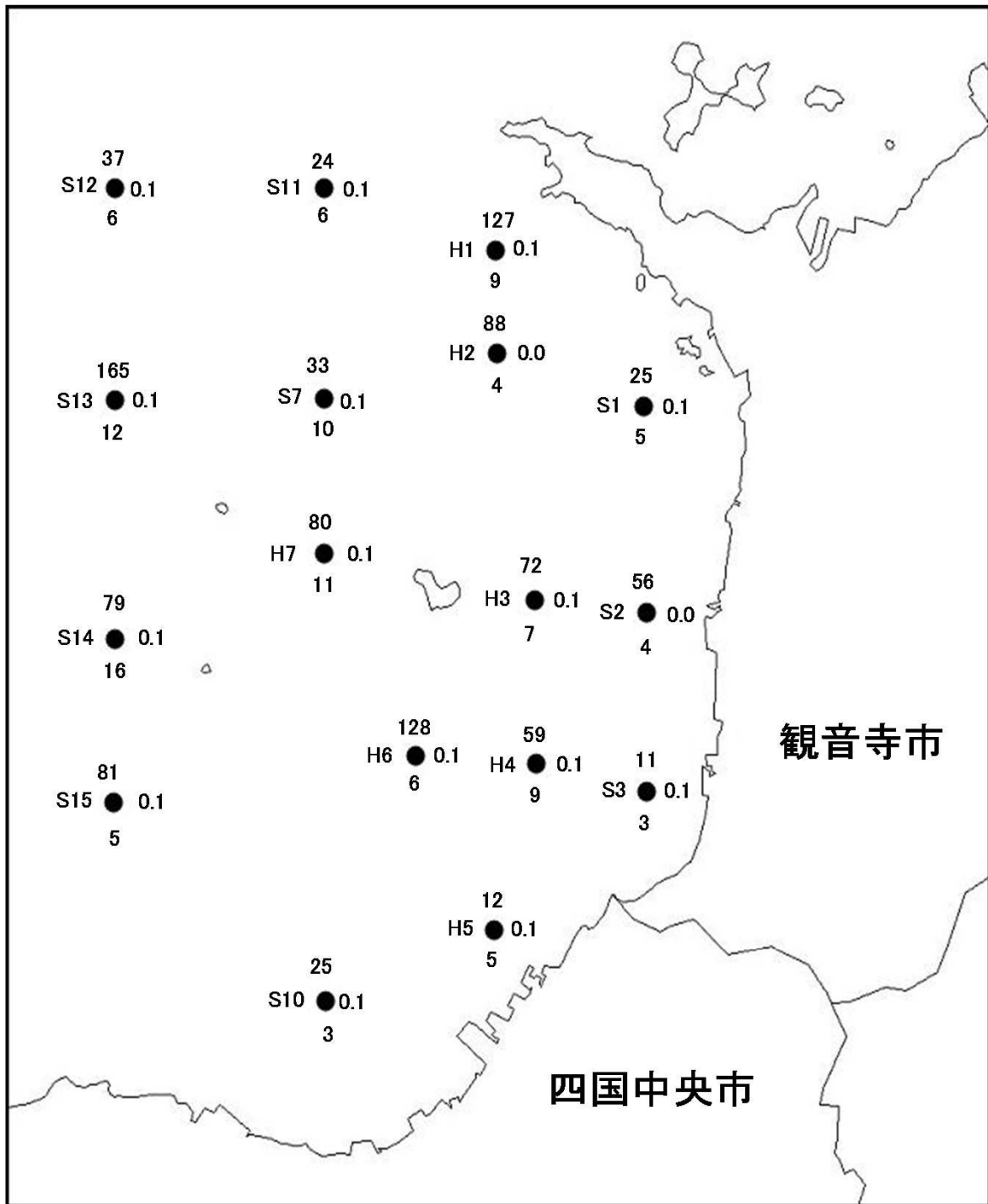
主にクモヒトデ類幼生、ミジンコ類、カイアシ類が出現した。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は平年より少なく、前年と同程度であった。

○クラゲ調査

クラゲは全般的に少なかった。

次回の調査は5月23日(火)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2017/5/12)



観音寺市

四国中央市

●の上側がカタクチイワシ卵数/m³を
下側がカタクチイワシ稚仔数/m³を、
右側がカイアシ類量(ml/m³)を示す。
※カイアシ類量は、プランクトン採集量

(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

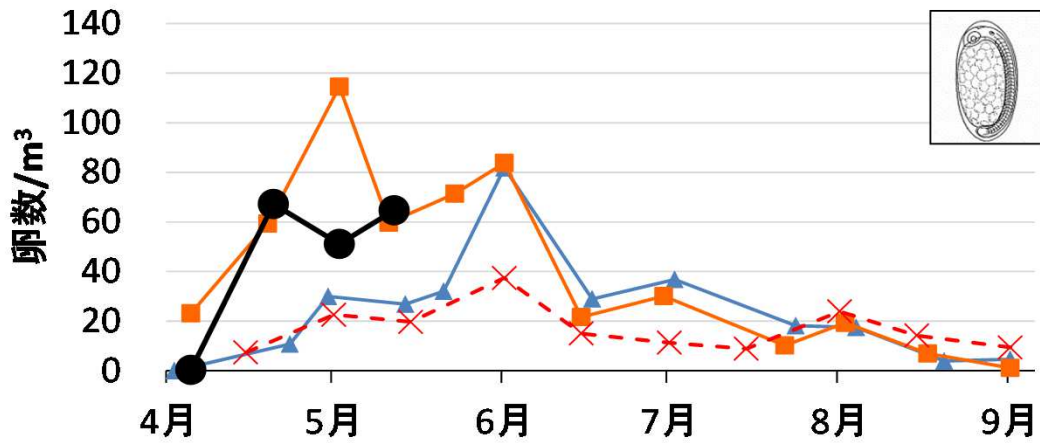
21 ← 卵数
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量
5 ← 稚仔数

平成29年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(3回目)

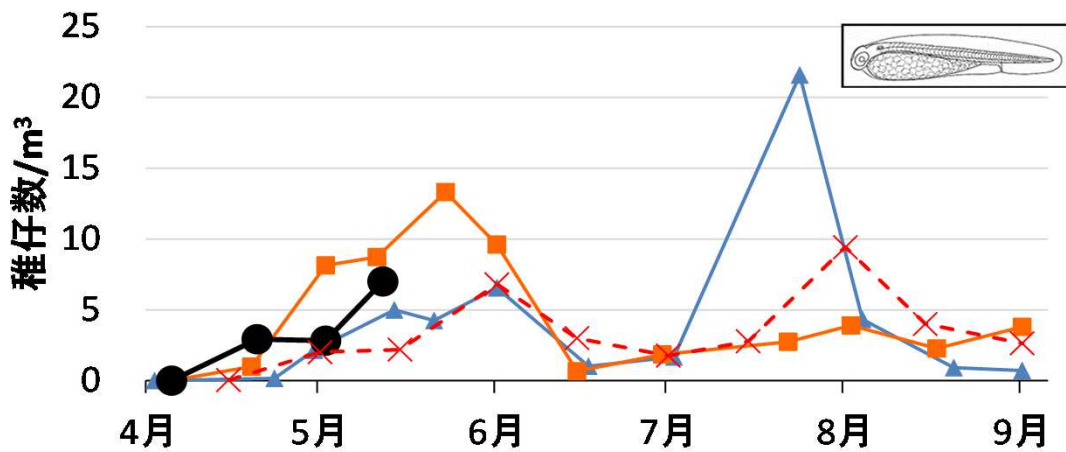
調査日: 2017/5/12

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ 卵	マイワシ 卵	その他 卵	カタクチ 稚仔	マイワシ 稚仔	その他 稚仔
H1	20	18.7	127	0	10	9	0	1
H2	20	18.5	88	0	4	4	0	0
S1	20	19.3	25	0	1	5	0	1
S2	20	19.0	56	0	4	4	0	1
H3	20	18.4	72	0	1	7	0	3
S3	18	19.2	11	0	3	3	0	4
H4	20	18.1	59	0	1	9	0	3
H5	20	18.4	12	0	8	5	0	2
S10	20	18.4	25	0	8	3	0	1
H6	20	18.3	128	0	5	6	0	3
H7	20	16.9	80	0	1	11	0	2
S7	20	17.0	33	0	5	10	0	3
S11	20	17.0	24	0	9	6	0	1
S12	20	17.6	37	0	1	6	0	2
S13	20	17.0	165	0	3	12	0	1
S14	20	17.1	79	0	4	16	0	3
S15	20	17.3	81	0	3	5	0	1
7点平均		18.2	81	0	4	7	0	2
平均		18.0	65	0	4	7	0	2

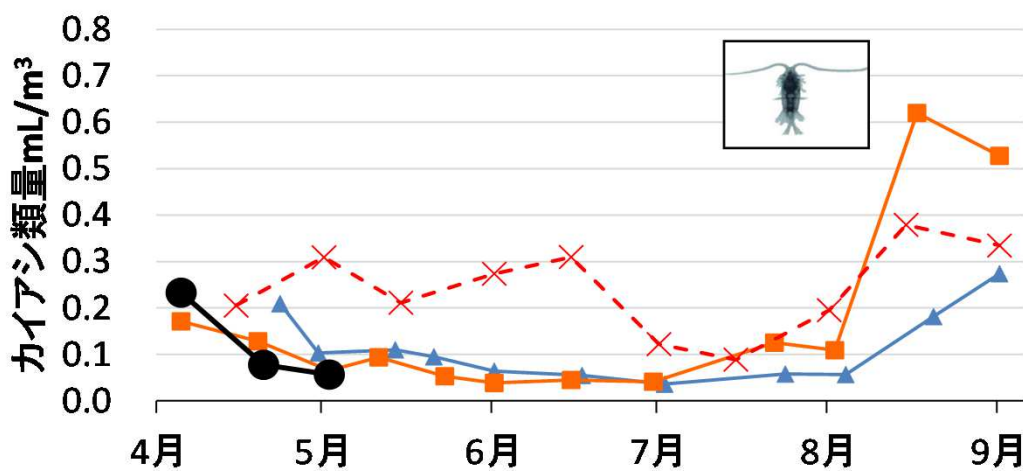
※なお7点平均は浅海定線調査を行っているH1~H7の平均 ※採集数はm³当たりの数



燧灘におけるカタクチイワシ卵数
 ▲平成27年 ■平成28年 ●平成29年 -×-H9-H28平均値

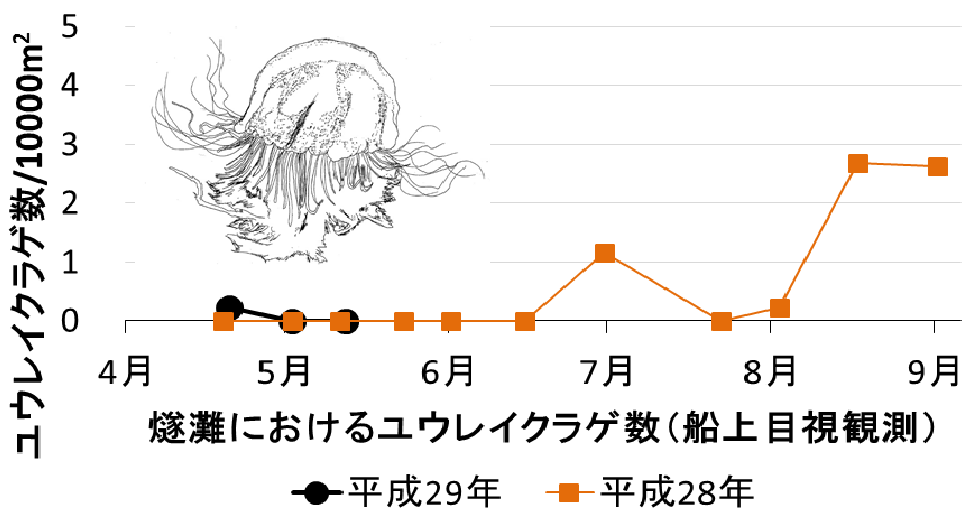
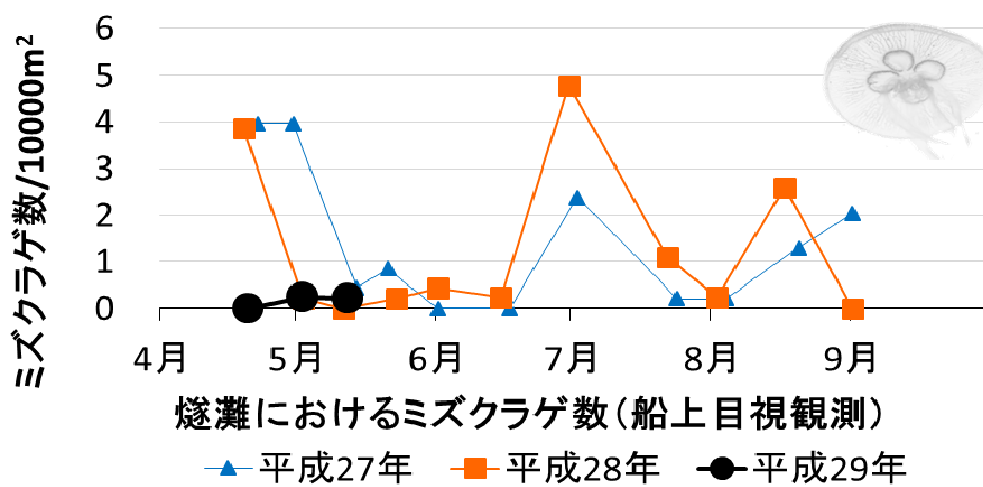
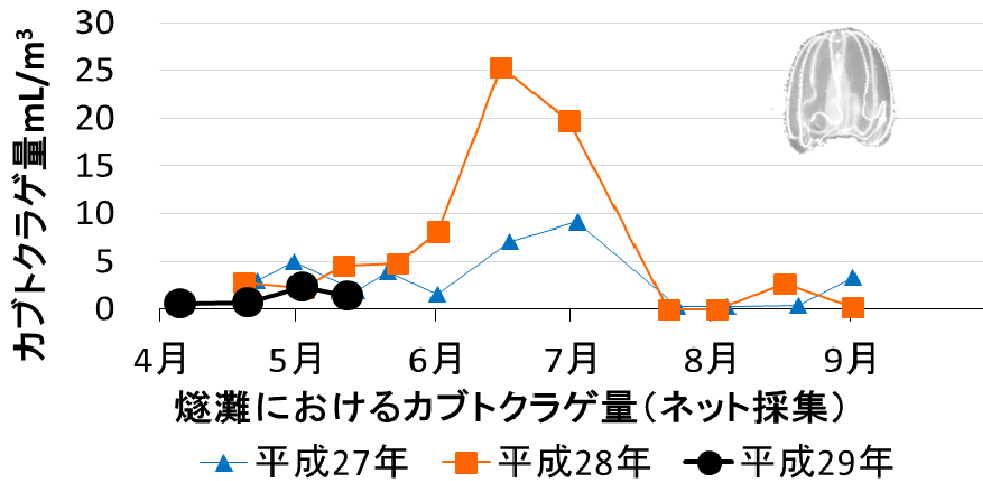


燧灘におけるカタクチイワシ仔魚数
 ▲平成27年 ■平成28年 ●平成29年 -×-H9-H28平均値

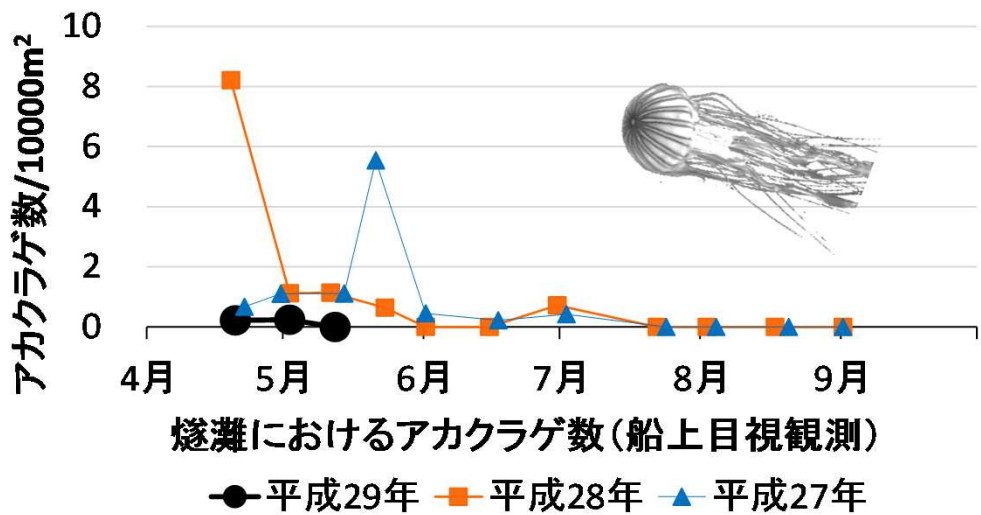
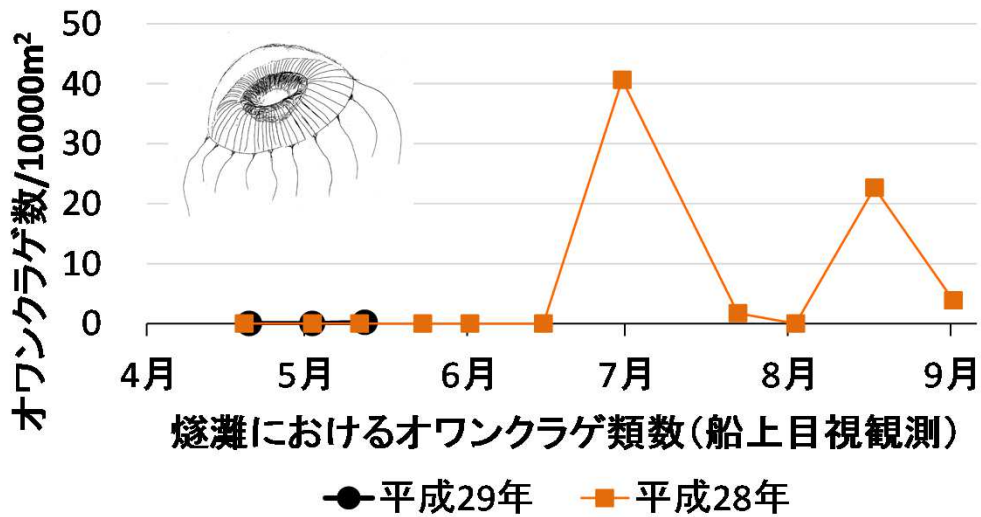


燧灘における大型カイアシ類量(概数)
 ▲平成27年 ■平成28年 ●平成29年 -×-H9-H28平均値

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。



※カブトクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集数。その他はH1～H7の7点における平均船上観測数(船速平均7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mで視認できるクラゲの数)。クラゲ量の目安としてご参照ください。
 ※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。



※H1～H7の7点における平均船上観測数(船速平均7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mで視認できるクラゲの数)。クラゲ量の目安としてご参照ください。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任を負いません。